

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	生涯学習の充実	基本事業	生涯学習機会の充実
----	--------------------	----	---------	------	-----------

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分 1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	区分 2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	3歳～5歳の子どもとその親
意図	子どもたちには、子ども同士で遊ぶことの楽しさや、協力、譲り合いなどの生活習慣を、親には子育ての楽しさや知識の獲得、親同士の交流機会を提供することにより、家庭教育力の向上を図る。
手段	子どもには遊びの楽しさや集団活動の体験、親には子育てに関する知識と交流の場の提供を図るため、絵本の読み聞かせやリズム体操、講演会等を実施する。(市内5地区 1地区10回開催)

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度予算	25年度予算	目標
対象指標1	市内の3歳～5歳の子どもの数	人	2,635	2,635	2,635	2,540	
対象指標2							
活動指標1	開催回数	回	51	51	51	51	
活動指標2							
成果指標1	参加者数	組	89	103	110	100	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計 (A)		千円	621	652	684	694	0
正職員人件費 (B)		千円	2,015	2,007	2,023	2,014	0
総事業費 (A) + (B)		千円	2,636	2,659	2,707	2,708	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案 (2月時点)	

25年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ25年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 23年度もしくは24年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 25年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性 (コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性 (成果)	向上			
	維持			
	放低下			